

～海洋資源を活用した温暖化対策「横浜ブルーカーボン」～



本市独自の制度による、

取組拡大中!



横浜ブルーカーボン・オフセットを実施します!

環境未来都市・横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策「横浜ブルーカーボン」において、横浜市独自のカーボン・オフセット制度の運用を平成26年度から行っています。これまで、地元の企業・団体の「わかめの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、市内で開催されたトライアスロン大会等で排出されたCO₂のカーボン・オフセットを行ってきました。

このたび、平成29年度の横浜ブルーカーボン・オフセットの実施に伴い、「横浜ブルーカーボン・オフセット制度証書授与式」を開催します。

今年度は、新たなクレジット創出方法として、重油よりも環境に優しいLNG（液化天然ガス）を燃料とする「LNG燃料タグボートの導入」によるCO₂削減効果を導入しました。また、カーボン・オフセット実施団体として、新たに3企業が加わります。



平成29年度横浜ブルーカーボン・オフセット制度証書授与式

行事名：第6回ブルーカーボン・シンポジウム in 横浜

日時：平成30年1月17日（水）

14時から16時まで

会場：大さん橋ホール

（「海と産業革新コンベンション（うみコン2018）」会場内）

主催：横浜市

* 当日取材希望の方は、裏面の問合せ先までご連絡ください。

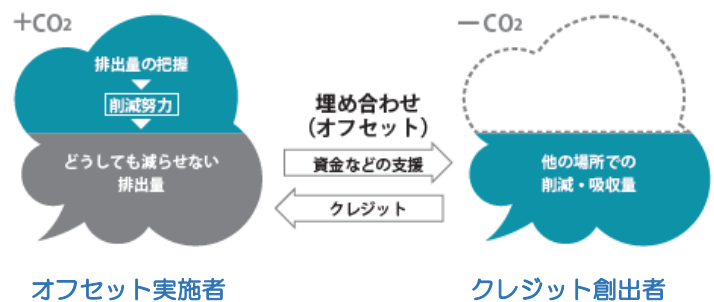
* 証書授与式は、シンポジウム後半に行います。

詳細はちらしをご覧ください。



カーボン・オフセットとは

自らの温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量（クレジット）で相殺（オフセット）することです。



「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」では、横浜市域のブルーカーボンまたはブルーリソースによる温室効果ガスの吸収量の増大及び排出量の削減を取引可能なクレジットとして認証しオフセットを促進するとともに、その販売代金の活用によって海の環境活動の更なる推進を目指しています。



ブルーカーボン・クレジット創出事業（平成 29 年度活用分）

わかめの地産地消による CO₂ 削減事業

- NPO 法人海辺つくり研究会
 - ・ 29 年度認証分 **2.0t-CO₂**
- 横浜市漁業協同組合
 - ・ 28 年度認証分 **3.9t-CO₂**
 - ・ 29 年度認証分 **18.5t-CO₂**
- 株式会社横浜八景島
 - ・ 29 年度認証分 **1.7t-CO₂**

認証対象：わかめを市外から搬入せず市内産を生産・消費することにより CO₂ 削減に貢献する量

海水ヒートポンプの更新による CO₂ 削減事業

- 株式会社横浜八景島
 - ・ 28 年度認証分 **0.2t-CO₂**
 - ・ 29 年度認証分 **1.0t-CO₂**

認証対象：年間を通じて温度が安定している海水のエネルギーを活用した先進的なヒートポンプの導入によって得られる省エネ効果による CO₂ 削減に貢献する量

LNG 燃料タグボートへの代替による CO₂ 削減事業

- 株式会社ウィングマリタイムサービス
 - ・ 29 年度認証分 **31.5t-CO₂**

認証対象：重油よりも燃焼時の CO₂ 排出量が少ない LNG（液化天然ガス）を燃料とするタグボートを導入することで CO₂ 削減に貢献する量



ブルーカーボン・オフセット実施イベント・企業

● 第 8 回横浜シーサイドトライアスロン大会

6.2t-CO₂

算定対象：大会出場者の会場までの往復移動、運営関係者の会場までの往復移動、大会会場におけるエネルギー使用

● 2017 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

36.4t-CO₂

算定対象：大会出場者の会場までの往復移動、運営関係者の会場までの往復移動、大会会場におけるエネルギー使用

● タモリカップジャパンツアー横浜大会

1.8t-CO₂

算定対象：運営関係者の会場までの往復移動、会場で発生するごみの処分、大会ガイドブックの紙の製造

● 石井造園株式会社

4.0t-CO₂

算定対象：石井造園株式会社の事業（平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に伴う水道、ガソリン・軽油、電気の使用

● 株式会社大川印刷

1.0t-CO₂

算定対象：印刷事業全体に係る CO₂ 排出量（平成 27 年度分）

● 株式会社丸井グループ

4.0t-CO₂

算定対象：丸井グループのプライベートブランドシューズの対象期間内での販売足数分の製造から廃棄までにかかる CO₂ 排出量

● 株式会社横浜フリースポーツクラブ（横浜 FC）

5.4t-CO₂

算定対象：平成 29 年 8 月 5 日の試合来場者 1 人あたりの排出量を 1kg-CO₂ としたときの排出量

合計 **58.8t-CO₂** 分のカーボン・オフセット！

【横浜ブルーカーボン】

海洋に生息する生き物によって吸収・捕捉される炭素を「ブルーカーボン」といいます。

『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。



わかめ収穫イベント



横浜産わかめ試食会



(c) Shinji KAWATA/JTU
環境に優しいトライアスロン大会



LNG 充填中のタグボート

～クレジットの売却益は、横浜の海の環境活動推進に活用されています～

お問合せ先

温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課長 岡崎 修司

Tel 045-671-2636

2018
1/17

第6回
ブルーカーボン・シンポジウム

in 横浜

海洋都市 横浜の目指す 持続可能な社会



[会場周辺図]

日時 平成30年1月17日(水)
14時から16時まで

会場 大さん橋ホール (「うみコン2018」会場内)
横浜市中区海岸通1-1-4

主催 横浜市

参加費無料

※「うみコン2018」に事前にご登録いただくとスムーズにご入場できます。

「うみコン2018」と同時開催!

「海と産業革新コンベンション (うみコン2018)」

日時 平成30年1月16日(火)~17日(水) 10:00~17:00

会場 大さん橋ホール (横浜港大さん橋国際客船ターミナル)

主催 海洋都市横浜うみ協議会

内容紹介

海洋政策やSDGs、産業動向などのキーパーソンが登壇するメインセッションや、企業・研究機関・大学による取組紹介 (トピックセッション)、パネル・製品展示、企業等ブース・交流スペース等

▶▶ プログラム

13:45 開場

14:00 開会あいさつ

横浜ブルーカーボン事業について 横浜市温暖化対策統括本部

14:15 **基調講演** きれいで豊かで二酸化炭素を吸収する海はつくれるか

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所

港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長 桑江 朝比呂

(登壇者紹介)

平成7(1995)年に運輸省港湾技術研究所(現:国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所)入所後、浅海域の物質循環・水質浄化や干潟生物の生態等の研究を行ってきた。

平成13(2001)年博士(農学)取得。平成28(2016)年より現職。

<14:45 ~ 14:50 休憩>

14:50 **パネルディスカッション** 横浜ブルーカーボン事業の展望

パネリスト : 桑江 朝比呂

刑部 真弘 (国立大学法人東京海洋大学 教授)

石井 直樹 (石井造園株式会社)

蓑内 真吾 (株式会社横浜八景島)

コーディネーター: 秋元 康幸 (横浜市温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当部長)

<15:20 ~ 15:25 休憩>

15:25 **式典** 平成29年度 横浜ブルーカーボン・オフセット制度証書授与式

16:00 閉会

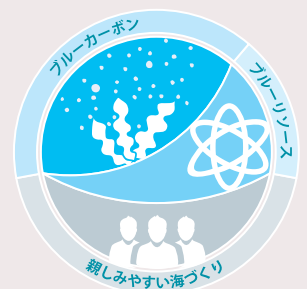
▶▶ 横浜ブルーカーボン事業

環境未来都市・横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」に平成23年度から取り組んでいます。「ブルーカーボン」とは、海洋に生息する生き物によって吸収・捕捉される炭素のことをいいます。

「横浜ブルーカーボン」では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。

平成26年度からは、本市独自のカーボン・オフセット制度(「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」)の運用を行っており、「地元産わかめの地産地消」と「海水ヒートポンプの導入」によるCO₂削減効果で、クレジット(CO₂の排出削減量・吸収量)を創出してきました。今年度は、新たに「LNG燃料タグボートの導入」によるCO₂削減効果を加えてクレジットを創出し、スポーツイベント等の開催で排出されたCO₂のオフセット(埋め合わせ)を行っています。シンポジウム後半で各取組について紹介いたします。

※カーボン・オフセット…自らのCO₂等の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収活動に投資することによってオフセット(埋め合わせ)することを言います。



◆ 注意事項 ◆

本イベントの内容を予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。
プログラムの追加、訂正は随時横浜市 Web ページにてご案内します。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ygv/bluecarbon/>